

花巻市政 2019年の振り返り

平成から令和へ改元となった2019年、花巻市政を振り返ると、蒔いていた種が花を咲かせるのを喜びつつ、新たな耕作地を耕す、そんな1年だったと感じています。2018年2月にスタートした2期目、「市街地の再生と地域医療の充実」「子育て支援の充実」「産業振興で仕事と賑わいのあるまちづくり」「市民の利便性・安全の確保」「市民とともに市政を推進」を掲げ、市民の声に耳を傾け選択と集中で持続的な花巻市の発展を目指してきた、この1年間を振り返ります。

1. 市街地の再生と地域医療の充実

◆各地域共通

- ・岩手医科大学附属病院の移転に伴い、利用者連絡バスを運行開始（9/24～）
▷花巻駅⇄石鳥谷駅⇄岩手医科大学附属病院（平日2往復、第1・4土曜日1往復）

◆花巻地域

- ・災害公営住宅、子育て世帯地域優良賃貸住宅が完成・入居開始（4/1～）
▷「災害公営住宅シティコート花巻中央」が住生活月間功労者住宅局長賞を受賞(10/12)
- ・花巻中央広場グランドオープン（7/5）
▷オープニングイベントとして公園ウエディングのデモンストラレーションや公園茶会（野点）、パーティーを開催（7/5）
▷花巻まつりでは屋台村として活用（9/13～9/15）
▷クリスマスツリーやビックリースの展示も行い、市民の憩いの場として演出(12/1～12/25)
- ・総合花巻病院の新病院完成（11/16）
▷竣工、落成式、招待者内覧会（11/16）市民内覧会（11/17）
→2020年 3/1新病院オープン予定
- ・市内産科医療機関へ就職する助産師、看護師への支援を開始（9/24公布）
▷就職支援金、貸付金、保育料支援金、家賃支援金、奨学金返済支援金を支給
- ・（仮称）道の駅「西南」名称・愛称募集（4/1～5/17）
▷名称：道の駅「はなまき西南」、愛称：賢治と光太郎の郷（さと）に決定
▷2018年から敷地の盛り土に着手し、本年10月に建築工事を着手
→2020年 秋ころオープン予定
- ・「HANAMAKI ART STATION 福祉×アート×駅」を開催(12/14～12/25)
▷八重樫季良（やえがし きよし）氏のオールブリュット作品をJR花巻駅東口をキャンパスとして展示



◆大迫地域

- ・大迫地域スクールバス・スクールタクシーへの一般混乗を開始（1/11～）

◆石鳥谷地域

- ・道の駅「石鳥谷」施設再編事業に着手
▷施設再編基本構想・基本計画を策定（5月）
→2023年（道の駅「石鳥谷」30周年）にリニューアルオープン予定

◆東和地域



- ・田瀬ダム高圧放流設備が日本機械学会機械遺産に認定（8/7）
▷国の直轄第1号のダムとして1954年に完成。洪水調節や発電、かんがいを行う多目的ダム
- ・新しい東和コミュニティセンターの供用開始（11/18～）
▷生涯学習や地域づくり活動の場として、また休止中の東和ふるさと歴史資料館の展示コーナーや、障がい者自立支援コーナーなど、地域の交流拠点施設として移転整備

2. 子育て支援の充実

- ・待機児童解消に向けて保育施設の設置者に施設整備費を補助
2019/4 にじいろこども園、花巻太陽の子保育園分園が開設、日居城野保育園が規模拡大
2020/4 みどりの保育園、わこのいえ保育園、つくし保育園が開設予定
- ・ロタウイルス予防接種費用の助成を開始（4/1～）
- ・産後ケア事業の利用料無料化の対象を生活保護世帯に加えて非課税世帯も無料化（4/1～）
- ・小中学校、幼稚園、保育園、こども発達相談センターに、県内でいち早くエアコンを整備、運用開始（6/28花巻小学校を皮切りに順次運用開始）
- ・幼児教育・保育の無償化がスタート（10/1～）
▷花巻市独自に取り組んできた「第3子以降保育料等負担軽減事業」なども国の制度改革に伴う実質負担の増加が無いよう、制度改革を行った
- ・「赤ちゃんの駅」の貸出を開始（8/1～）
▷市内で開催されるイベントに乳幼児の授乳・オムツ交換を行うためのテント等一式を無料で貸出（一式：テント・オムツ交換台・折りたたみベンチ・テント用重り）

3. 産業振興で仕事と賑わいのあるまちづくり

◆ブドウ生産とワインを核とした産業振興

- ・「日本ワインフェスティバル花巻大迫2019」を開催（5/25、5/26）
・花巻ワインPRイベント「花巻の恵みフェア」を都内で開催（7/8から1ヵ月程度）
▷都内の10店舗で市内3ワイナリー（エーデルワイン、高橋葡萄園、亀ヶ森醸造所）のワインを期間限定で提供
- ・「ワインツーリズムいわて2019」を開催（8/31、9/1）
▷開催期間を2日間に延長し、同日開催された「イーハトーブフェスティバル2019」とも連携（2日で延360人が参加）
- ・「花巻クラフトワイン・シールド特区」を活用した初のワイナリー、オールペイザンワイナリーが誕生（10/4）



◆いわて花巻空港国際定期便の就航（1/30～）

- ・上海浦東（プードン）国際空港といわて花巻空港を結ぶ国際定期便が就航（中国東方航空）
▷毎週、水曜日・土曜日の2往復



◆「宮沢賢治のイーハトーブ花巻レストラン」を都内・市内飲食店で開催

- ・東京都丸の内にある“小岩井プレミナル（現在の小岩井農場TOKYO）”で花巻産農畜産物を使用し宮沢賢治の童話をモチーフにした特別メニューを提供（2/15～2/21）
- ・花巻市内8店舗で特別メニューを提供、市内2店舗で喫茶・物販（8/27～11/10）

◆東和温泉がリニューアルオープン（9/14）&入湯者数350万人達成（9/30）

- ・東和温泉を運営する株式会社とうわ地域資源開発公社に対し、老朽化した施設整備に要する費用などの財政支援を行った

4. 市民の利便性・安全の確保

◆道路交通網

- ・国土交通省が(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ新規事業化を決定(9/27)
 - ▷全体事業費は約20億円
 - 2023年度中の供用開始を目指す
- ・国道4号北上花巻道路が社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会で審議され、現道拡幅案で承認(6/14)
 - ▷国道4号北上花巻道路4車線拡幅計画に伴い、国道4号に関する都市計画道路変更素案の縦覧を実施(9/24~10/23、12/3~12/17)
- ・主要地方道花巻大曲線花巻・沢内間未改良区間の小倉山4号トンネル築造工事が公告
 - ▷1986年度より道路改良事業が進められ、現在約7km(事業区間8.5km)が整備完了。2024年度の完工を目指す
- ・予約乗合バス、西南地域及び隣接する南中根子・諏訪地区でも運行を開始(10/1~)
 - ▷岩手県交通の路線バス栃内線が9月末に廃止されたことに伴う措置
 - ▷「月・木」の運行と「火・金」の運行を隔週で交互に運行
- ・花巻駅東西自由通路、橋上化を検討
 - ▷JR東日本盛岡支社及び同東北工事事務所と協議を重ねた結果、自由通路及び半橋上駅舎として基本的な機能を備えつつ、規模や機能を縮減し、概算事業費も一定の削減がなされた案が示された。今後、市の財政的な余力や国の補助制度等を加味しつつ事業実施の可否を判断する
- ・新花巻図書館建設場所についてJR東日本と交渉
 - ▷各地域、郊外からも来館が容易で、わかりやすく、高校生や子供たちの学習の場として利用されやすい場所として、花巻駅東口に隣接しJR東日本が所有している区画についてJR東日本と契約条件を協議中

◆防災・災害

- ・台風19号が関東・東北地方に上陸、各地で河川の氾濫や停電などが発生(10/12)
 - ▷花巻市内では人的被害は無かったものの、住宅被害50件、公共施設被害27件、道路障害88か所、りんご61ha、その他作物50.8ha、ビニールハウス152棟、倉庫・農作業小屋46か所が被災
 - ▷市内28か所の避難所に216世帯、389名が避難
 - ▷被災地への職員派遣：山田町 延べ10名(10/28~12/27)
田野畑村 延べ6名(11/5~12/13)
- ・株式会社ユニバースと災害時における物資供給に関する協定を締結(11/12)
- ・「花巻市避難行動要支援者名簿に関する条例」を制定(12/12公布)
 - ▷避難行動要支援者の名簿情報を、本人から拒否の申し出がない限り平常時から情報提供できるように条例を制定
 - 2020年 4/1施行

5. 市民とともに国内外の交流を推進

- ・神奈川県平塚市と友好都市提携35周年、青森県十和田市と友好都市提携30周年
 - ▷平塚市友好都市提携35周年記念式典
 - ▷十和田市友好都市提携30周年記念式典
- ホテルグランシェール花巻で開催(9/14)
- 花巻新渡戸記念館で開催(11/9)



- ・花巻東高校硬式野球部員20名が、花巻市・ホットスプリングス市姉妹都市提携25周年及び米国レイクサイド高校と姉妹校締結20周年を記念してホットスプリングス市を訪問、合同練習や親善試合を行う(12/1~12/10)

6. 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

◆復興『ありがとう』ホストタウン事業

- ・オーストリア共和国柔道競技選手との交流会開催(9/2)
 - ▷市内中高生・大学生とオーストリア女子柔道代表選手2名・コーチ1名との柔道交流
- ・米国ロサンゼルス市のジャパンハウスで開催されたパネルディスカッションに参加(9/25)
 - ▷花巻市長、花巻東高校野球部員2名、ホットスプリングス市姉妹都市プログラムエグゼクティブディレクターのメアリー・ズーニック氏が出席
 - 花巻市の他、大船渡市、福島県喜多方市からも参加
- ・米国文化交流イベント「USAを応援しよう」を開催(11/3)



▷市内小学3年生以上の児童40人を対象に、スポーツに関連した米国の文化を学ぶ

▷講師と一緒に米国選手の応援フラッグを作成。作成したフラッグは米国の陸上競技連盟へ送付

- ・福島県Jヴィレッジで開催された「復興ありがとうホストタウンサミットinJヴィレッジ」に参加(11/4)
 - ▷同イベント内で開催されたパネルディスカッションには、橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣をはじめ、花巻市長らホストタウン首長、東北の次世代を担う若手アスリート6人が参加。岩手県からは、花巻中学校出身でU18女子ハンドボール日本代表選手の藤原ひなたさん、岩手県立杜陵高等学校に勤務するパラノルディック競技選手の柴田真聖(しばた まさきよ)さんが参加
- ・オーストリア共和国ハーピスト ソフィー・シュタイナー氏の演奏会を開催(12/16)
 - ▷大迫交流活性化センターで全6曲を演奏

◆田瀬湖ポート場で代表選手が合宿

- ▷ポート競技 日本シニア選手12名(6/8~6/25)、U23日本代表候補選手9名(6/22~6/29)の強化合宿を開催
- 2020年にはポート競技日本代表選手の直前合宿を予定(6/15~7/19の予定)